

【エリアの特性】

＜自然＞

やまなみの緑を背景としたまち

エリア南部には、石宝殿古墳や高良神社などが位置する市内で標高が一番高い上山があり、周辺からの緑のランドマークとなっています。

＜歴史・文化＞

自然と一体となった遺跡などにより歴史を感じるができるまち

石宝殿古墳（国指定史跡）は、巨石によってつくられた特異な形態を有しており、封土がないことなどとあわせ、全国的にも例が少ない古墳です。また、周辺部には多くの歴史的な遺跡や古墳などがあるとされています。

また、打上（高良）神社は、竹内宿禰を祭神とする由緒ある神社で、周辺の樹林とともに、静閑な雰囲気を漂わせています。

＜人工・都市＞

古い歴史と新しいまちが共存する市の東の玄関口のまち

東寝屋川駅に近く、駅前に暮らしの中心となっている商業施設が集積するなど利便性の良いエリアです。駅の周辺には、旧集落とともに、中高層住宅団地があり、駅の北側では、打上地区土地区画整理事業により新しい市街地も形成されています。また、エリア北側には、広域のレクリエーションの場となっている寝屋川公園があります。このエリアには、多くの歴史資源とともに、旧集落や新しいまちが共存し、比較的まとまりが感じられるまちとなっています。

景観整備の方向

歴史が眠る自然を活かし、市の東の玄関として躍動するまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

- 上山の樹林や石宝殿古墳などの自然・歴史の環境を活かすまち

- 上山などの自然環境を守り育てる。
- ・背景となっている樹林の緑の活用
- ・市内を眺望できる場の確保と活用

＜歴史・文化＞

- 石宝殿古墳や打上（高良）神社、旧集落地などの歴史的な環境が新しい市街地と調和するまち

- 新しい市街地と歴史が調和するよう歴史資源を演出し、活かす。
- ・地域の歴史が感じられる歴史的資源の演出と活用

＜人工・都市＞

- 市の東の玄関として魅力あるまちなみとともに、緑の自然と旧集落、新しい市街地などが調和する魅力ある暮らしを享受できるまち

- 市の東の玄関として魅力あるまちなみを育む。
- ・駅や駅前広場と一体となったまちなみの形成の誘導
- ・中高層住宅などにおけるベランダ緑化や共有部分の緑化により育まれる緑の活用
- ・回遊性の創造や演出による緑の資源の活用

景観資源と特性図



③打上川付近には、田園風景の
パノラマがひろがっている

④開発地（打上地区土地区
画整理事業）における景
観形成の誘導

②東寝屋川周辺には、商業地や
中層住宅団地が形成されている

文化と歴史のネットワークルート

中層住宅団地

旧東高野街道

讃良川

高層住宅団地

①石の宝殿古墳
の周辺は上山
の樹林の緑に
恵まれている



- (凡例)
- 旧街道
 - PPP 商業施設・商店街
 - * たため池
 - 河川・水路
 - 農地・斜面緑地
 - ✳ 社寺・鎮守の森
 - 公園・広場
 - 学校教育施設
 - ▲ その他公共施設
 - ▨ 低層戸建住宅地
 - ▩ 中高層住宅団地
 - ▧ 旧集落地
 - 景観単位及びその周辺の整備目標
 - 文化と歴史のネットワークルート
 - 自歩道(既存)
 - - 自歩道(計画)
 - *** 緑道(既存)
 - ○ 緑道(計画)
 - □ □ 北河内広域自転車道



■ 景観基本単位

名 称	<旧集落地>打上元町	<公共系中層住宅団地>梅が丘1丁目	<高層住宅団地>打上・寝屋川東ファミリータウン
景観整備 の目標	○旧高野街道が通る歴史的な景観を 現代に活かす。	○団地内の緑化、美化などを通じて、 住みよい住環境をつくる。	○高層住宅団地内の高度利用に伴う オープンスペースを確保、保全し、 傾斜地の緑を活かした憩いのある 景観をつくる。
活用する 景観資源	○古いまちなみの活用 ○まちなみの育成に関するルールづ くりなどの取り組みにより保全・ 育成されるまちなみの活用 ○寝屋川公園と一体になった斜面地 などの緑の活用	○共有空間などにおける緑の活用 ○団地内の美化活動などを通じた美 しいまちなみ形成の活用	○傾斜地の自然の活用 ○公開空地の緑の活用 ○調整池などの水辺の空間の活用